

【情報公開文書】

2019年12月5日作成

研究課題名	食道内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）後狭窄症例に対する内視鏡的バルーン拡張術+ステロイド経口投与併用療法の検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 消化器内科（光学医療診療部）
研究責任者(職名)	山口 直之（准教授）
共同研究機関	この研究は長崎大学病院のみで実施します。
研究期間	2020年1月21日～2026年3月31日
研究目的と意義	本研究は食道表在癌に対するESD後狭窄症例に対するEBD+SH経口投与併用療法を、従来のEBD単独と比較し、その有効性（EBD必要回数）及び安全性（合併症発現率）を検討する。 本研究を行うことで、従来、頻回のEBDを必要とした症例に対して、EBD+SH経口投与併用療法により、もし早期に狭窄解除が可能になれば、患者さんや医療経済上の負担を軽減できると思われる。
研究内容	●対象となる患者さん ① 2006年4月1日～2025年3月31日の間に長崎大学病院消化器内科にて食道表在癌に対しESDを行い、治療後の食道狭窄を伴う患者 ② 対象期間中に年齢が20歳以上の患者
	●利用する情報 年齢、性別、病歴に関する情報（多臓器癌の合併・併存疾患）、病変周在性、病理学的所見:治癒切除・一括完全切除・一括切除、壁深達度、ESD偶発症：出血・穿孔・狭窄、治療反応性・予後:狭窄に対する治療内容および狭窄解除の有無、狭窄解除までに要したEBDの回数、その他併用薬の有無を診療録より収集する。
	●研究方法 狭窄解除成功率、狭窄解除までに要したEBDの回数、狭窄関連症状（嚥下困難など）の有無を評価する。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：山口 直之（医師） 長崎大学病院 消化器内科（光学医療診療部） 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7489 FAX 095（819）7489 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：安全・広報課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）